

パラフィン系潜熱蓄熱材「エコジュール」が、「2011年”超”モノづくり部品大賞」を受賞

当社(社長:木村 康)のパラフィン系潜熱蓄熱材「エコジュール」が、日刊工業新聞社とモノづくり日本会議が主催する「2011年”超”モノづくり部品大賞」で大賞に選ばれましたのでお知らせします。

同賞は、わが国のモノづくりの強さを再認識し、わが国の産業・社会の発展に貢献することを目的として「縁の下の力持ち」的存在である部品・部材に焦点を当てた贈賞制度です。

今回、当社の「エコジュール」は各分野から選出された29件の部品・部材の中で、特に優秀と認められたものに贈られる「超モノづくり部品大賞」を受賞しました。

「エコジュール」はノルマルパラフィンを主原料とし、ゲルやマイクロカプセルに加工した潜熱蓄熱材です。水が氷になるように、物質が液体から固体、固体から液体に相変化する際に、放出もしくは吸収される熱エネルギーを「潜熱」といい、これを蓄える技術を「潜熱蓄熱」といいます。水が0℃で凝固(相変化)するのに対し、「エコジュール」は凝固温度が生活温度領域(3℃~30℃)にあるため、冷やしすぎ、温めすぎというエネルギーの無駄がなく、熱を効率よく蓄えることができます。

こうした特長を活かし、ビル空調では夜間電力、住宅部材では太陽熱などの自然エネルギーの有効活用ができ、省エネを促進します。そのほか、自動車部品、家電、調温衣料など幅広い分野でも利用されています。

なお贈賞式は12月6日(火)、ホテルメトロポリタン仙台で行なわれる予定です。

<超モノづくり部品大賞概要>

主催:日刊工業新聞社、モノづくり日本会議

後援:経済産業省、日本商工会議所

対象:機械、電気・電子、自動車、環境関連、健康・医療機器、生活関連

<エコジュール(ゲルパック)>



● 別添資料

 [【別添】エコジュールについて](#) (PDF:182.6 KB/1ページ)